

山田坂仁は、連続評論家。明治四十一年一月十六日長野縣生れ（一九〇一）。昭和七年東京帝國大學文藝部哲學科卒。プロレタリア科學研究所、唯物論研究會、編輯し、哲學の黨派性を通じての論争などいかに加はる。一渡檢舉。報知新聞社、讀賣新聞社、北隆館等の職場を経、戦後民主主義科學者協會評議員となり、千葉工業大學教授、明治大學教授を歴任。毛澤東主義についての理論活動も展開した。筆名山岸達藏、山岸辰藏、藥谷俊一。

譯著書、チャールズ・シンガー著『魔法から科學へ—中世の科學・哲學・社會』（譯、昭和十九年十一月十五日北隆館）、『現代觀念論批判』（合著・松村一人編、昭和二十二年一月二十日ナウカ社）、『思想と實踐』（昭和二十二年二月十日北隆館）、『民主體性論等』（合著・眞下信一編、昭和二十二年十月十日白揚社）、『自由と必然』（昭和二十四年一月二十五日北隆館）、W・G・バーチエツト著『運命を解いた中國』全二冊（小川修共譯、上・昭和二十九年一月二十日、下・四月二十日岩波書店「岩波新書」）等。

